

1 本校の「志教育の目標」

- (1) 他者とよい人間関係を築きながら自他の理解を深め、自らの生き方を追求していく姿勢を育てる。
- (2) 自分の夢実現と社会とのつながりを考え、社会の一員として未来を創造する力を育てる。

「柴田高校 夢実現 ～ Never Say Never 新たなる夢の実現へ～」という言葉のスローガンとし、生徒も教員も「夢実現」をめざして学校生活・教育活動を行っている。

2 実践事例1 『キャリアセミナー』

(1) キャリアセミナーの概要（令和3年度）

目 的	様々な職業で活躍されている社会人の方々に、現在の選択に至った経緯や苦労話、やりがいなどを話してもらおう。また、講師との座談会形式での話し合いにより、自己の進路について考え、目標を再確認し具体化する方法を見いだす。
実施時期	令和3年11月9日（火）5、6校時
対象生徒	1学年生徒128名、2学年生徒137名
講 師	社会人講師19名
【講座例】	<ul style="list-style-type: none"> ・成功した人、成功する人 ～社会を幸せに生きるテッパン～ ・「楽しい」を仕事にする ・コミュニケーション&働くとは？ ・高校生時代に準備しておく事 ・美容の仕事、社会人にとって大切なこと ・飼育員の仕事と地域との関り ・接客業のプロ仕事のはなし ・豊かな生活の極意
概 要	分科会（座談会）形式の進路講話で、講師には5、6校時に2回話してもらい、生徒は2講座に参加する。生徒の参加分科会は希望調査をもとに事前に決定。1講座の生徒数は2～35名。
依頼業者	（株）ライセンスアカデミー

(2) 受講した生徒の感想

- ・人の役に立つ仕事はとてもカッコイイなと思った。人と接する仕事だからこそ気づかされることもあり、人としての成長につながることを学んだ。
- ・心のつながりが社会では一番大事だと知った。どんなに仕事ができても、周囲とのコミュニケーションがとれなければ信用をなくす。これは今のうちに身につけなければならないことであり、これからは積極的にあいさつをしたり、相手に感謝を伝えたりしようと思う。
- ・色々な経験が将来役に立つことが分かり、たとえ失敗したとしても諦めずに取り組んでいこうと思った。

(3) 成果・分析

受講の様子や受講後の感想から、本校生徒にとって有意義な行事になっていることがわかる。テーマから興味のある講座を選ばせたことにより、自分で希望することで講師の話を積極的に聞き、対話し【かかわる】、その話から何かを得ようと【もとめる】という意欲が生じている。生徒にとって、社会人として生きる自分の将来をイメージしたり、考えたりする契機となる良い経験になっている。



3 実践事例2 『生徒会・柴田町議会議員との意見交換会』

(1) 生徒会・柴田町議会議員との意見交換会の概要（令和3年度）

目 的 町議会議員と意見交換することにより，地域に興味関心を持ち，社会参画への意識を高める契機とする。

場 所 会議室

実施方法 小グループに分かれ，自己紹介，意見交換を行う。

【1回目】

実施時期 令和3年7月6日（火）放課後
対象生徒 生徒会3年生10名

【2回目】

実施時期 令和4年1月21日（金）放課後
対象生徒 生徒会2・1年生9名

(2) 成果・分析

前年度は感染症禍によりリモートで議会事務局とつなぎ，1度だけ意見交換会を行った。お互いにリモートに慣れていないせいか深い話には発展しなかったが，ぜひ同じメンバーで実施したいとの要望により，7月に今年度1回目の意見交換会（対面）を行った。3年生として残り僅かな高校生活をどのように過ごしたか，また，卒業後の柴田町とのかかわり方などの話をしていた。

2回目は新役員での実施となり，主にコロナ禍における学校生活や，今後の社会に期待することなどの意見交換を行った。

高校生が議員の方々と話をするという貴重な経験は，彼らの将来に大きく影響することと思われる。また，議員の方からは若い人の率直な意見が聞け，有意義な意見交換会だったとの感想もいただいた。今後もこの取り組みを継続していきたい。

